2024年度・第10回未来会議（全体会）議事録

鹿ノ台未来まちづくり会議（未来会議）会長　須都　紘
副会長兼書記・広報　伊藤　智子

日時：　2024年1月21(日)13:30～15:00

場所：　いきいきホール2階　大会議室

出席者（順不同、敬称略）：
須都　紘（会長）、黒部　實（副会長）、伊藤　智子（副会長・書記・広報）、
鎌田　卓（事務局長・会計）、山田　勲、黒田　勝行、中世古　昭一、
山田　修、田口　信義、平尾　英城、中川　浩光、
オブザーバー：　中尾　節子
欠席：　三室　哲哉、渡辺　昇、山地　祐輔、蔵田　かほり

配布資料：
① 令和5年度第10回（1月）未来会議（全体会＆分科会）議題（案）V2
② 令和6年度　鹿ノ台未来まちづくり会議　運営方針
③ 鹿ノ台未来まちづくり会議（未来会議）2023年決算見込み（V4）
④ 鹿ノ台未来まちづくり会議（未来会議）
⑤ 鹿ノ台春まつり　出演・出店者リスト V7
⑥ 鹿ノ台春まつり　配置図　R7
⑦ 電線配線工事のお知らせ・ご協力依頼について（施工場所:鹿ノ台中央公園）
⑧ 生駒市コミバス『たけまる号』鹿ノ台線　実証運行　利用状況（まとめ）V2
⑨ 生駒市コミバス『たけまる号』鹿ノ台線　実証運行　乗車実績（人数）
R5.12月度
⑩ 生駒市コミバス『たけまる号』鹿ノ台線 実証運行実績 分析【令和5年12月度】
⑪ らら♪まつり（チラシ）
⑫ DIY でミニ太陽光発電設備を設置し、節電しよう

会長挨拶

―来年度予算については、1月16日が締切日であったため、いったん提出した。事前に皆さんにメールした内容で特にコメントがなかったが、ご意見があれば今日、出していただきたい。

2024年度運営方針・重点施策

<u>運営方針は、以下の2点：</u>

1、「鹿ノ台未来まちづくり中期計画（案）骨子」（2021年8月作成）をもとに、中長期的な街づくりの視点から、課題の抽出と解決に向けた対策を検討し、鹿ノ台未

来まちづくり中期計画を策定する。

2. 上記「鹿ノ台未来まちづくり中期計画」のうち、今後実施の優先度の高いテーマについて、具体的な解決策を検討し、自治連合会と連携して、まちづくりを推進する。

重点施策は、以下の3点：

1. 未来まちづくりの課題抽出・対策の検討と中期計画の策定

—会議発足後3年間の議論、分科会の取り組みを踏まえ、中期まちづくりのテーマ・目標を抽出・設定し、対策の検討を行い、中期計画を策定する。

＊具体例として、11月の未来会議と連合役員会の「連絡会」で提起された「自治会長・評議員の負担軽減」および「住民の自治会離れ対策」などの課題について、連合会と共に解決に向けて取り組むことを提案したい。2月、3月の未来会議で議論していただきたい。

2. 若い世代の転入促進と子育てしやすいまちづくり

—新規転入者促進の一環として実施してきた「鹿ノ台中央公園の魅力向上」のためのアイデア募集とワークショップを通じて寄せられた具体的施策の実現を図る。

—スポーツ公園でバスケットボール練習をしたいという要望に応え、生駒市みどり公園課、自治連合会と連携してバスケットゴールの設置とその利用促進を図る。

—子どもの居場所づくりの取り組みから生まれた「放課後子ども教室・にじ」の運営を支援する。

3. 交流と賑わい・文化の香りあるまちづくり

—地域資源である、花と緑豊かな鹿ノ台中央公園を活用し、2024年3月30日にコンサート・マルシェ・フリーマーケット・キッチンカー・ゲーム・お花見・同好会の模擬演技など、子どもたちから大人・高齢者まで全世代が楽しめる複合イベント「鹿ノ台春まつり」を開催する。

—第1回「鹿ノ台春まつり」について、来場者・出店者へのアンケート結果を基に、イベント内容・運営体制などを検討し、第2回の開催に繋げていく。

2023年度決算・2024年度予算

—決算については、印刷コピー代および春まつりのイベント開催費はまだ確定していないが、次期繰越金は34，528円（見込み）となっている。

—予算については、収入は、繰越金34，528円と、連合からの運営助成金

100，000円の合計134，528円である。支出では、春まつりと子どもイベントの予算が56,000円と、前年より増えている。春まつりは、今年度の内容と同様を予定しているが、来年度では出演者に対する謝礼を予算化した。子どもイベントは、中央公園ワークショップ参加者が主体となって「お月見会」を企画しており、キャンドル・お菓子・チラシの代金として1万円を計上した。

＊「月見どろぼう」について： 高山町や上町で続いてきた慣習。十五夜の時だけは、こども達はご近所のお宅が用意したお団子やお菓子をどろぼうしても良いという。これにちなんで、鹿ノ台中央公園で実施する「お月見会」でも、お菓子等を子どもたちに配ろうと企画中。鹿ノ台西自治会にも問い合わせがあったりもしています。鹿ノ台小は、もともと高山町のある生駒北小から別れた経緯もありつながりはありそうです。

鹿ノ台未来まちづくり（未来会議）通信第3号の発行について

―第1号・第2号を発行した後、しばらく発行していなかったため、「春まつり」での配布を目指して第3号を発行することが前回の全体会で承認された。

―今回は、色や体裁は第2号を踏襲し、タイトル文字を以前の落ち着いた感じから少し元気の良い文字に変更、レイアウトを若干シンプルに、写真は実際の活動の様子のものを使用することとしたい。

―内容については、各分科会がこれまで実施してきた具体的な活動について知ってもらうものとし、自治会員の皆さんに分かりやすいものにしたい。

―表ページを Q＆A 形式にしたのは、未来会議が「自治会員であれば、所定の手続きを経て、どなたでも参加していただける」組織であるというアピールを行うことで、誰が何をやっているのか分からないという不透明感を払しょくし、開かれた組織として新メンバーを求めていると伝えることを意図している。

―裏ページの各分科会の活動紹介では、活動毎に QR コードを配し、そこから詳しい内容のウェッブページに飛べるようにしたい。各分科会は、これまでの活動のまとめを連合ホームページなどに掲載していただき、そのページに飛ぶ QR コードを記載することにしたいのでご協力をお願いしたい。特に「困り事サポート」の冊子は、全体をスキャンして載せていだければ、普段から冊子が手元になくても、ホームページで読めて便利だと思うので、是非お願いしたい。 → 承知した。

鹿ノ台春まつりについて

―コンサートについては、1グループが辞退され、3グループ（「G＆G」、「ぐり」、「ゆ～でぃあん＆えみ」）が新たに参加されることとなった。既定の「Egg Benedict」、「Violet North」、「KEIKO＆とおる」、「生駒弦楽アンサンブル」の4グループと合わせて7グループが出演する。

―キッチンカーは1店舗が取りやめとなる代わりに2店舗が参加を決定され、合

計で6店舗が出店する。

―ストリートオルガンの出演が確定した。

―絵画グループ「夢画」は、当日撮影した写真を後日絵にしてオータムフェスタで展示する形で、自由参加となった。

―川柳教室は、会場の木の枝に50句ほど短冊をつるして来場者に見ていただく趣向である。

―東西南北の桜美会にも「お花見会」を実施しての参加を打診している。

―当日の会場レイアウトは、西側の石のステージでコンサートを行い、その前にテントおよび椅子50脚ほどを並べる。広場の南側に、本部席とキッチンカー6台が並ぶ。東側の段々でお花見会、その前でストリートオルガンの演奏、およびバンビ・マルシェ＋バンビカフェ＆レストランが開催される。広場北側には子供向けゲーム、フォトブース、フリーマーケット＋マルシェを配置する。広場中央では、健康太極拳のサークルが模擬演技を行う。

―チラシは校区全体に配布する。

意見： 消毒液の準備、トイレ洗剤の補充にも留意して欲しい。

<u>中央公園の電源工事について：</u>

―以前から要望してきた中央公園の電源工事がようやく実施されることになり、今月22日から2月9日まで配線工事が行われる。西側の石のステージの南側と、トイレの北西角に電源 BOX が設けられる。100V60アンペアという大容量なので、今年からは納涼祭もこの電源を使うこととなり、発電機は必要なくなるだろう。春まつりも、この電源で実施できることとなった。

鹿ノ台コミバス月度乗車実績について（報告）

<u>12月度の乗車実績：</u>

―R4年8月～R5年7月の1年間は、運行日数147日、乗車人数6919人、1日あたり47．1人だった。年間収入比率は31．10％と、生駒市の基準をわずかに上回った。

―R5年8月～12月の5カ月間では、運行日数は60日、乗車人数3104人、1日あたり51．7人だった。それ以前の1年間と比べて、1日あたりの乗車人数は117％増加している。年間収入比率も33．56％と向上している。

<u>運賃の改定について：</u>

―2月より奈良交通の路線バスの運賃が改定となり、鹿ノ台北二丁目⇔学研奈良登美ヶ丘の運賃が190円→220円に上がる。これに伴い、これまで、路線バスの運賃と同額にするために自治連合会から乗車1回につき10円を補助して190

円にしてきたコミバス鹿ノ台線の運賃も、生駒市コミバス統一料金の200円に揃える（4月1日から）。

―1月の連合役員会において、この補助廃止について承認した。今後は、生駒市の運賃に関する協議会で審議していただく。

DIY でミニ太陽光発電設備を設置するための講座について

―市民エネルギー生駒という市民団体の日比野さんという方が、電気工事の資格を持っていない人でも構築可能な小規模太陽光発電システムの実証実験を行っておられる。
―具体的には、18万円ほどの予算でカーポートの屋根に太陽光パネル（＋コンバーター＋蓄電池）を設置し、発電をしておられる。
―2月4日に北コミュニティセンターISTA はばたきで開催される市民団体のイベント「らら♪まつり」の一環として、日比野さんが「DIY で太陽光発電をしよう！」というタイトルで講演される。時間は、11：00と12：30の2回、同じ内容で行われる。お時間のある方はぜひ参加して欲しい。

次回

日時：　2024年2月18日（日） 13：30～16：30
　　第I部　　全体会　13：30～15：10
　　第II部　　分科会　15：15～16：30

　　幹事は13：15集合

場所：　いきいきホール大会議室

以上